

TONARI

2016 冬号

グッドネーバース・ジャパン会報

CONTENTS

- ハイチ ハリケーン・マシュー緊急支援
- バングラデシュにて裁縫技術研修を実施
- 支援事例のご紹介
- 熊本地震 半年間の支援活動を終了
- スタッフが社協だよりに掲載されました
- グローバルフェスタJAPAN2016出展報告
- 寄付付き年賀状で子ども達を支援
- スタッフインタビュー
- 領収書および寄付金控除について



海外事業

緊急支援

ハイチ ハリケーン・マシュー緊急支援



2016年10月4日、カリブ海のハイチを直撃した大型ハリケーン『マシュー』。ハイチ政府によると死者は546人にのぼり、1か月近くが経過してもまだ、140万人が人道支援を必要としています。(UNOCHA Situation Report No. 19)

最貧国の一つとされるハイチでは、元々脆弱だったインフラがハリケーンにより分断され、2010年の地震以後蔓延していたコレラの再流行や、その他の伝染病による2次被害も懸念されています。

グッドネーブーズは、2010年の大地震をきっかけにグッドネーブーズ・ハイチを設立し、ハイチ東部を中心に地域開発活動を実施しています。同国で今後の活動予定地域として準備していたガンティエ地域も今回のハリケーンにより被災し、Cottin村で500~600人、Lamadelle村で400~500人が被災しました。グッドネーブーズは8日に緊急支援を決定し、ガンティエ地域および、被害が最も大きい南西部グランダンス県にて現地の被害状況やニーズの調査を行い、緊急支援物資の配布を行いました。

緊急支援物資の配布

10月14日(現地時間)緊急支援チームは、ガンティエ地域のダマリ村で135世帯500人を対象に、食料品・衛生用品などの緊急支援物資を配布しました。今後も同域計340世帯1,700人と、被害の大きいグランダンス県ジェレミー地域などの、被災された方への物資配布を行います。

写真：緊急支援物資を運ぶ現地スタッフ



日本人スタッフ2名がハイチへ

グッドネーブーズ・ジャパンも11月に日本人スタッフ2名を派遣し、被害の大きいグランダンス県で調査及び被災者支援を実施しております。ハイチに派遣したスタッフは、2010年の大地震でもハイチで活動したスタッフと、熊本地震の被災者支援のため現地に半年以上駐在した経験豊富な職員です。必要とされる支援は、その時・場所によって異なりますが、これまでの経験を活かしながらも柔軟に現地のニーズを見極め活動してまいります。

※本事業はジャパン・プラットフォームの助成を受けています

【ハイチ・ハリケーン「マシュー」緊急支援募金にご協力お願いします】

※ホームページからクレジットカードによるご寄付も可能です。(手数料不要) www.gnjp.org/

▼ 郵便払込で寄付

郵便局窓口にある「払込取扱票」または「郵便振替払込請求書兼受領証」にご記入ください

口座番号：00900-9-78879

加入者名：NPO法人グッドネーブーズジャパン

通信欄：「ハイチ」と記入

払込人住所氏名：必ずお名前、電話番号、郵便番号、住所をご記入下さい

▼ 銀行振込※で寄付

銀行名：三菱東京UFJ銀行 本郷支店

口座番号：普通 1155337

口座名義：トクヒ)グッドネーブーズ

振込依頼人名：振込依頼人名の後に「ハイチ」と入力 (例) ヤマダ ハナコ ハイチ

* 銀行振込みによるご寄付の場合、住所が特定できないため領収書をお送りすることができません。確定申告時の税控除申請には領収書が必要です。

バングラデシュにて裁縫技術研修を実施

バングラデシュのシラジガンジ地区で、グッドネーブーズが支援する裁縫の自助グループを対象に技術研修が行われました。現在グッドネーブーズ・バングラデシュでは、人々の収入向上を目指して14の地域で39の自助グループを支援しています。そのうちの3つが裁縫の仕事に専門にしており、今回はシラジガンジ地区のグループを対象に、新しく導入したミシンの使い方と刺繍デザインの講習を実施しました。この研修は8月末に行われ、15人の女性が参加して熱心に講習を受けていました。



ミシンの実習をする参加者



講師の説明を真剣に聞く参加者達



新しく導入されたミシン

コメント

「このような機会を得られて嬉しいです。このプログラムを通して私たちの技術が高められたと思います」(参加者)
 「彼女達は積極的に学んでいました。刺繍は洋裁の仕事のとても重要な部分です。今回学んだことを活かして、もっと素敵な服を作ってほしいです」(研修を担当した講師)

このような研修により、製品の質の向上および生産量の増加を図ることで、自助グループの収入向上と安定が期待されています。そして参加者達は最新の裁縫技術やデザインを学ぶことができ、仕事への自信にもつながったようです。

支援事例のご紹介

障害を乗り越えて働く喜び (エチオピア)



私の名前はネサネットです。私は障害を持って生まれました。今、2人の子ども達を1人で育てています。夫は6年前に出て行きました。障害を持つ私の世話に疲れてしまったのだと思います。私の身体では仕事を得るのは大変で、仕事もないのに2人の子どもを育てるのは簡単ではありませんでした。

グッドネーブーズ・エチオピアは2010年に私の子どものうち1人を支援プログラムに参加させてくれました。とても嬉しかったです。しかし状況は依然として厳しく、子ども達を食べさせるのに苦労し、もう1人の子どものことも心配でした。

グッドネーブーズ・エチオピアは、障害を持った人のグループにも職業訓練などの支援をしていました。その後、私も職業訓練を受けて、自分で収入が得られるように、コピー機、裁断機、ラミネーターなどを提供してもらいました。そして私は10人の仲間と一緒にビジネスを始めて、今では定期的に収入を得ています。

今では子ども達の食事や、着る服の心配をしなくてよくなりました。私は以前より幸せで、自信もつきました。私の娘は今6年生で成績も優秀です。グッドネーブーズ・エチオピアが私に自立した生活を送れるようにしてくれたことに感謝し、この生活を楽しんでいます。

国内事業

復興支援

熊本地震 半年間の支援活動を終了

グッドネーバース・ジャパンは、4月23日より熊本県南阿蘇村でのボランティアセンター運営サポートを中心に、地震の緊急・復興支援を行ってまいりましたが、10月31日をもって活動を終了しました。

今回は秋口に配布した電気毛布と、これまでのボランティアセンター支援の成果についてご報告します。

寒さの厳しい仮設住宅へ、電気毛布420枚を配布

南阿蘇村における住宅の被害は全壊662棟、半壊720棟。いまだ多くの方が仮設住宅で生活しています。一般の住宅に比べ気密性の低い仮設住宅で暮らす方々が少しでも温かく過ごせるようにと、南阿蘇村内5カ所および大津町3カ所の仮設住宅にお住まいの約400世帯を対象に、電気毛布420枚を配布しました。約188×130センチと大判の、この電気毛布は大変好評でした。

コメント

- 「寒くなったけん、どうしようか悩んどったところよ」
- 「使とるやつが古いけん、大変ありがたい」
- 「うちは、ばあちゃんが高齢でいるのですごく助かる」
- 「足元が冷えるけん、何かほしいと思っとったんよ」



南阿蘇村の長野村長(右)と事務局長



南阿蘇村下野地区の仮設にも配布

南阿蘇村ボランティアセンター運営サポートの成果

ニーズ
1,500件

マッチング率
98.7%

ボランティア
8,400名



家具の清掃を行うボランティア

グッドネーバース・ジャパンは熊本県阿蘇郡南阿蘇村の災害ボランティアセンターにスタッフ2名を派遣し、震災ボランティアのコーディネーション業務を担いました。

4～10月にセンターで受けたニーズは約1,500件(避難所・個人住宅など)、それに対しマッチングしたボランティアはのべ8,400名に上りました。ボランティアの主な活動内容は、支援物資の仕分け/炊き出し/瓦礫撤去・運搬/土砂撤去(豪雨災害)/家屋清掃/引っ越しなどでしたが、ボランティアが多く集まってしまった時は、屋根の補修補修に使う土嚢袋を作ってもらうなど、ニーズとボランティアを効率よくマッチングできるよう臨機応変に対応しました。



ボランティアセンターのスタッフの皆さんと

同センターは南阿蘇村社会福祉協議会内の一般のボランティアセンターに移行し、グッドネーバース・ジャパン撤退後も続けてボランティアの依頼受付、派遣は継続しています。

今後は、グッドネーバース・ジャパンが担っていた常駐の災害対応担当の職員が不在となるため、ニーズが上がり次第ボランティア募集を行うといった体制になります。

※本事業はジャパン・プラットフォームの助成を受け実施されました

グッドネーバース・ジャパンが熊本県南阿蘇村の災害ボランティアセンターに派遣していた、スタッフの片岡と諫山が南阿蘇村社会福祉協議会の広報誌に掲載されました。

2人は災害ボランティアセンターの運営スタッフとして駐在し、被災された方や避難所等からの支援ニーズとボランティアをマッチングする、コーディネーション業務を行って来ました。

今回、熊本地震発生後の半年間の記録をまとめた「南阿蘇社協だより」に2人のコメントを掲載していただいたので、ご紹介いたします。

災害対応と復興の記録



↑掲載していただいた「南阿蘇社協だより」

ブログもご覧ください

グッドネーバース・ジャパンのブログでも熊本での活動の様子を紹介しています。ぜひそちらもご覧ください。

熊本駐在スタッフより①

数多くのボランティアさんと出逢って感じるこ



熊本駐在スタッフより②

南阿蘇村の米と人々の力



ブログURL ↓

<http://ameblo.jp/gnjp/>

災害ボランティアセンターへ長期支援

NPO法人 グッドネーバースジャパン

NPO法人グッドネーバースジャパンとして、災害ボランティアセンターの運営に携わり4月23日から約半年間こちらでお世話になりました。

村内の方々と直接お会いしたり、電話でお話する機会がある中で、数多くの震災当時の出来事やお話をお伺いし、胸が熱くなること、辛くなること、涙が出ること、たくさんの気持ち・想いがありました。

復興・復旧にはまだまだ時間がかかりますが、今後とも別の形で支援ができればと考えております。

また、地元社協職員をはじめ、全国からの行政職員、他県の社協職員のサポートのもと円滑に業務ができたことを大変感謝しております。

一日でも早くもとの南阿蘇に戻る日を心待ちにしております。

運営スタッフとして 長期支援



片岡 茜さん

諫山 由紀子さん

南阿蘇で 活動されたボランティアさんたちの声

南阿蘇村の復興を 隣県大分より応援

磯野 幸博さん

大分県大分市



初めての災害ボランティアは南阿蘇村から始まりました。避難所支援、ガレキや土砂の撤去、室内の清掃など様々な作業をさせてもらいました。依頼者さんからの「ありがとう」の言葉が身に浸みて嬉しかったです。

様々な経験をさせてもらい、私自身を成長させてもらいました。日本全国、海外からも駆けつけて来た尊敬出来る素晴らしいボランティアの方々との出会いもありました。いつも自分たちの活動をしっかりと支えてくれる、社協スタッフの方々にはとても感謝しています。ありがとうございます。

南阿蘇村の復興を隣県大分より応援しています!

自然災害への怖さを 改めて痛感

松本 寿成さん

大分県大分市



南阿蘇でのボランティア活動に、5月から休日を利用して参加致しました。状況はテレビで見えてはいましたが、目の当たりにすると自然災害への怖さを改めて痛感致しました。

6月には豪雨による土砂崩れ等もあり、二重の災害となってしまいました。他の民間ボランティア、運営スタッフの絶え間ないサポート、そして何より、南阿蘇の方々の復興に向けた力強い心で、元の街並みに確実に戻っていると感じています。

ボランティア活動で自分自身も何か成長したのではないかと思います。

活動を通して出会えた全ての人に感謝致します。

これまで熊本の支援のためにご寄付をいただいた多くの皆様、また様々な形で活動にご協力いただきましたボランティア・団体・企業の皆様、大変ありがとうございました。

10月1日(土)・2日(日)に国内最大級の国際協力イベント「グローバルフェスタJAPAN2016」がお台場センタープロムナードで開催され、グッドネーバース・ジャパンもブースを出展しました。ブースではアジア・アフリカの雑貨やグッドネーバースオリジナルのコーヒーを販売したほか、手作りプレスレットを作れるコーナーを設けました。また、グッドネーバースの活動パネルの展示も行いました。



様々な国旗の色のプレスレット作り



コーヒーの試飲を実施



スタッフとボランティアさんで

当日は高校生から社会人の方まで、多くのボランティアさんに手伝っていただき、和気あいあいとした雰囲気の中、運営することができました。また、多くの方が立ち寄ってくださり、グッドネーバースの活動に関心を持っていただく良い機会になりました。

ルワンダのコーヒー農家の自立のために

グローバルフェスタで27袋限定で販売した、ルワンダコーヒーについてご紹介します。このコーヒーは、グッドネーバース・ルワンダによって設立された社会的企業※である「Café de gisagara (カフェ・ド・ギサガラ)」が取り扱っているものです。

※社会的企業…社会問題の解決を目的として収益事業に取り組む事業体



カフェ・ド・ギサガラがもたらす効果

カフェ・ド・ギサガラは、2014年にルワンダのギサガラ地域のコーヒー農家の人々の持続的な発展を目指して設立されました。コーヒー豆の取引方法の改革や、農業研修などを実施して、次のような成果をあげています。

- ◇ 早期の現金支給による農家の家計向上
- ◇ 組合活動による情報共有と農家のモチベーション向上
- ◇ コーヒー栽培の専門家派遣による、組合員の栽培技術研修とモニタリング
- ◇ 組合員の専門性が高まり、コーヒーの品質が向上

この取り組みにより、コーヒー農家の人々が自立して、安定した生活を送れるようになってきています。



二日間におけるグッズなどの売り上げは51,000円、募金額は5,900円でした。この収入は、グッドネーバース・ジャパンが実施する、途上国での地域開発のために使わせていただきます。ブースに足を運んでくださった皆様、そしてボランティアの皆様、ありがとうございました。

12月1日
10時
締め切り

グッドネーバース・ジャパンは、2017年の年賀状を期間限定で販売しています。

1枚100円で販売しており、1枚につき10円がグッドネーバースが行う、アジア・アフリカにおける子どもの環境を改善するための活動に役立てられます。

郵便局のお年玉付年賀はがきでお届けしますので、切手は不要です。世界中のすべての子ども達が希望を持てる新しい年を迎えられるように、今年は寄付つき年賀状を送りませんか？



デザインは3種類！

『夢のたまご』

世界の子も達が持つ夢の卵を温めて...オリジナルデザインの年賀状です

『たくさん食べてね』

「食べる」ことは「生きる」こと。栄養たっぷりの給食を食べる子ども達の年賀状です

『羽ばたく白い鳥』

ネパールの男の子が描いた鳥のイラストを年賀状にしました

寄付つき年賀状でできること

- ・10枚で、子どもにお腹一杯の食事を提供できます。(チャド)
- ・100枚で、マラリア予防に効果のある蚊帳を提供できます。(ケニア)
- ・150枚で、ひとつの家庭に浄水器を提供できます。(カンボジア)
- ・300枚で、1人の中学生の学用品一式(制服、文房具など)を提供できます。(インド)

購入はウェブサイトから (お支払いはクレジットカードのみとなります)

- ・締切：12月1日午前10時
 - ・送料：360円 (50枚以上で送料無料)
 - ・お届け日：販売期間終了後に商品を発送します (12月8日発送予定)
- キャンセルについてなど詳細はウェブサイトをご確認ください

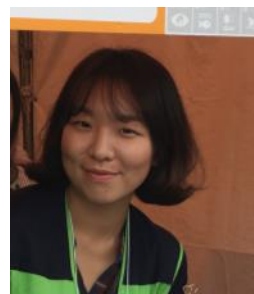


↑サイト下部のこのバナーをクリック！

グッドネーバース・ジャパンの事務所でコミュニケーターとして働く、キム・ジミンスタッフにインタビューをしました！

Q. グッドネーバース・ジャパンで働くことになったきっかけを教えてください！

A. 私は90年代の初め、とても貧しかったインドネシアで育ちました。そこで12年間幼少期を過ごしながら、貧困を目の当たりにして、社会福祉や国際開発に興味を持つようになりました。そのため大学で社会福祉を専攻し、最初はグッドネーバース・韓国で働いていましたが、家族の事情で日本に引っ越してきて、グッドネーバース・ジャパンで働く機会を得ました。



Q. 普段はどのような仕事をしていますか？

A. 東京近郊の韓国人コミュニティにグッドネーバース・ジャパンを紹介し、支援や協力を募っています。これまでに、韓国人学校で「希望の手紙コンテスト」や、新宿の韓国料理店と協力して熊本でのホットクの炊き出しなどを行いました。また、グッドネーバース・ジャパンとグッドネーバース・韓国、そして世界中の支部と連絡してプロジェクトを進める、橋渡しの役割もしています。

Q. 仕事のやりがいを感じるのはどんなときですか？

A. 新しいことに挑戦するときです。最初は緊張しますが、やり終えると達成感を感じます。NGOでは世界中で起こる様々なできごとに迅速に対応しなければならないので、新しいことに挑戦する機会がたくさんありますが、それはこの仕事の魅力の一つだと思います。

最後に、TONARI読者に一言お願いします！

いつもご支援ありがとうございます。今後もっとサポーターの方々と交流する機会が持てればと思います。サポーターの方々は、この世界に良い変化をもたらすひとりだと思っています。

当団体へのご寄付は寄付金控除の対象となります

認定NPO法人グッドネーバース・ジャパンへの寄付は「寄付金控除」の対象となります。

2016年中の2,000円を超えるご寄付は、以下のいずれかの控除方式が適用されますので有利な方式をご選択ください。子どもサポーター・定期サポーター・一時寄付の全てが対象です。

「認定NPO法人」とは…

NPO法人の中でも

- 広く一般から支持を受けている
- 情報公開を適切に行っている
- 組織運営・活動が適切に行われていると所轄庁に認められた法人を指します。

①所得控除方式

寄付金額 - 2,000円 = 所得控除の額

②税額控除方式

(寄付金額 - 2,000円) × 40% = 税額控除額 (所得税)

ほとんどの方はこちらが有利となりますが、ご自身でご確認ください

確定申告時に、グッドネーバース・ジャパンから発行された領収証を所轄税務署にご提出ください。

サポーターの種類	支払い方	控除対象	領収証の発行時期
子どもサポーター 定期サポーター	クレジット 郵便振込 銀行引き落とし	○	2016年分をまとめて2017年2月中旬までに発行
一般サポーター (一時寄付)	クレジット	○	ご寄付いただいた翌月10日以降に発行(都度発行) ※2
	郵便振込		ご寄付いただいた1週間前後に発行(都度発行) ※1
	銀行振込 銀行引き落としとは異なります	—	銀行振込の性質上、住所やご本人様を確認する情報がないため、発行を致しかねます。何卒ご容赦ください。

手続き上の諸注意 必ずご確認ください。詳細については所轄税務署にお問い合わせください。

※年末調整では控除を受けることができませんのでご注意ください。控除を受けるためには確定申告の必要があります。

※紛失等による領収証の再発行は致しかねます。大切に保管ください。

※郵便局でご寄付のお振込みの際、「払込票兼受領証」等の控えは大切に保管ください。

※認定NPO法人の規定により、所轄庁に寄付者名簿を提出しております。ご連絡をいただければ名簿から除外させていただきますが、その場合は寄付金控除の対象となりませんのでご了承ください。

編集後記

こんにちは。インターンの横道です。今回初めて会報のお手伝いをさせていただきました。編集をしながら各国の支援状況を知っていく中で、サポーターの皆様のご支援の重要性を実感しました。いつもありがとうございます。2016年も残り少なくなり、1年を振り返ることが多くなりますが、皆様にとってはどのような年だったでしょうか。個人的には新しい環境や出来事に挑戦する年だったように感じます。寒さも厳しくなってきましたので、お身体に気を付けて、良い年をお迎えください！

お問い合わせ・資料請求

☎ 0120-916-010 (平日10時~18時)

[Email] sup@gnjp.org

住所変更のご連絡をお願いします！

ご住所やメールアドレスを変更されたサポーター様は、お手数ですが、グッドネーバース・ジャパン事務局までお電話、またはメール(左記参照)にてご連絡ください。

子どもサポーター

検索

 Good Neighbors

発行：認定NPO法人 グッドネーバース・ジャパン

〒143-0016 東京都大田区大森北2-14-2大森クリエイティブビル3階

[Tel] 0120-916-010 [Fax] 03-6423-1766 [Email] admin@gnjp.org

[URL] http://www.gnjp.org [Facebook] facebook.com/gnjp [Twitter] @GNJapan